

弓ヶ浜セミナーコーナー

■弓ヶ浜セミナーについて

教職員サロン・弓ヶ浜セミナーは、米子高専における研究の交流を目的に2013年11月から開催されてきた。2015年には1月と11月に開催され、これまで合計7回実施されてきた。毎回、それぞれの話者は、研究分野の異なる聴講者を前提に、入念な準備の下、研究の背景から先端の話題について紹介してきた。

そこで昨年に引き続き、2015年に発表された2件の研究についても、米子高専研究報告に弓ヶ浜セミナーコーナーとして報告させて頂くことになった。2件とも身近な対象に関する内容で、1件はLED等の光デバイスについて、もう1件は水についてである。セミナーにおける講演内容を文章にて眺めて頂き、これらの研究分野を楽しんで頂ければ幸いである。

以下、今回の弓ヶ浜セミナーコーナーにおける2本の論文の概要を述べていきたい。

◆第6回弓ヶ浜セミナー（2015年1月30日開催）

題名：あなたのそばにある光デバイスおよび著者の研究紹介

著者：角田 直輝（電子制御工学科）

本稿は、身近に存在するLEDの発行原理ならびに開発の歴史についての解説から始まる。また、日本人3名による青色LEDの研究開発に対し2014年のノーベル物理学賞が与えられたが、なぜ青色LEDで受賞に至ったかについても解説される。後半では、著者が現在取り組んでいる酸化亜鉛の試作ならびにその光デバイスへの応用についての研究の紹介がなされる。

◆第7回弓ヶ浜セミナー（2015年11月25日開催）

題名：私達の周りの水環境

著者：伊達 勇介（物質工学科）

本稿は、人間が生きる上で必要不可欠な「水」に対し、まず、水とは何かについて種々の観点による考察から始まる。次に、人類が水をどのように考えてきたか、またいかに利用してきたかについて解説される。後半では、著者が研究を続けている中海の水質に関する調査結果の紹介がなされる。

以上、弓ヶ浜セミナーコーナーの研究報告を楽しんで頂ければ幸いである。

教職員サロン・弓ヶ浜セミナー 世話人
堀畑 佳宏（教養教育科・数学）